西暦2020年1月27日　第1版

（臨床研究に関する公開情報）

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]
血液培養検査における同一肢からの検体採取と検査陽性率に関する検討

[研究責任者]
総合診療科　最勝寺　佑介

[研究の背景]
血液培養検査は血液中の細菌感染を診断するために必要な検査です。通常、成人の血液培養検査は1回の検査では細菌の特定が十分にできないため、少なくとも体の2箇所から採血を行う必要があります。日本の医療機関では、慣習的に採血を同じ腕や足で行うことを避けていますが、実際には同じ腕・足から採血を行ってはいけないという根拠はありません。

[研究の目的]
同じ腕・足から血液培養検査を行うことの有用性を明らかにすることを目的に研究をおこないます。

[研究の方法]
●対象となる患者さん
細菌の血流感染が疑われる患者さんで、西暦2019年9月1日から西暦2020年8月31日の間に長崎医療センター総合診療科にて血液培養検査を施行した15歳以上の方
●研究期間：西暦2019年9月1日から西暦2020年8月31日
●利用する検体、カルテ情報
検体：血液培養検体（診療または他の研究で使用した検体で保管することに以前同意をいただいたもの）
カルテ情報：来院日時、年齢、性別、身長、体重、来院時血圧、来院時脈拍、来院時体温、来院時酸素飽和度、来院時呼吸数、悪寒戦慄の有無をはじめ、血液検査採取部位や抗菌薬の使用の有無、検査結果
●検体や情報の管理
血液培養検体は、院内で測定されます。情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]
研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、検体を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。
検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]
国立病院機構長崎医療センター
総合診療科　最勝寺　佑介
電話番号：0957-52-3121（代表）